

地方自治に功労 故竹原晴人氏に旭日単光章

きよくじつ たん こうしょう

6月25日、今年3月に亡くなられた竹原晴人氏（蔵原、享年82歳）への叙勲伝達式が市役所で行われ、佐藤市長より勲記（賞状）と勲章が長男の憲一氏に手渡されました。

竹原氏は、昭和57年11月、阿蘇町議会議員に初当選。以来、3期12年にわたり在職し、経済常任委員会副委員長を務め、町づくりや地方自治の発展に大きく貢献されました。

また、阿蘇町民生委員として2期6年にわたり活躍され、地域の世話役として住民福祉の向上にも努められました。



▲ご本人に代わり伝達を受けた故竹原氏の長男の憲一さん（中央）



古くから伝わる郷土の味を次世代の子供たちに

7月3日から3日間、阿蘇高校の生徒を対象に、地元阿蘇の農産物を使った郷土料理の講習会が実施されました。平成12年から毎年この時期に開催しています。

今年度も阿蘇市生活研究グループの会（岩瀬葉津子会長）から延べ20人の会員が郷土料理の先生となり、生徒たちに料理にまつわる昔話なども交えながら調理を教えました。

生徒たちは、慣れない手つきながらも熱心に取り組み、日ごろ食べる機会が少なくなった伝統料理づくりを楽しみました。地産地消や食の大切さに触れるよい機会になったようです。

黒川地区青年会が宝くじ助成事業で地域活動備品を整備

地域社会の健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、黒川地区青年会（谷崎利浩会長）が地域の子どもたちに餅つきを体験させるため、地域活動備品（餅つき用具など）を整備しました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成を行うもので、今回整備した備品は、大人と子どもの世代間交流、地域住民のコミュニケーションを図るために役立てています。



▲前列で抱負を語る新役員の皆さん

女性団体の連携で男女共同参画社会を築く

7月2日、就業改善センターで平成19年度阿蘇市女性団体連絡協議会総会が開催され、関係者約120人が出席しました。

同協議会は会員数1,356人。地域婦人会、JA阿蘇女性部、商工会女性部、食生活改善推進員協議会、生活研究グループの会で構成され、会員がお互いの連絡調整を密にし、親睦を深め、女性の福祉・地位の向上と男女共同参画社会の実現を目的として様々な活動を行っています。

なお、総会では役員改選等が行われ、会長に神保京子さん（古神2区）、副会長に森紀子さん（南宮原）、菅美佐子さん（古城7区）、岩瀬葉津子さん（横堀）及び井佳子さん（東3区）が選出されました。